

くすの葉だより

Vol. 195
R04. 12. 20 総務課

1月行事予定

日	曜	行 事 予 定
1	㊦	元日
2	㊦	振替休日
3	火	
4	水	
5	木	☺
6	金	
7	㊥	
8	㊦	
9	㊦	成人の日
10	火	始業式 1・2年校内学力テスト（国数英）3年火㊥～㊦+HR 身だしなみ指導
11	水	2年校内学力テスト（歴公理） 家庭学習時間調査 ↑
12	木	3年㊥～㊦+激励会 1・2年平常授業 第3回PTA 理事会 ☺
13	金	3年共通テスト移動日 仰（マイブレイン読書）
14	㊥	↑ 大学入学共通テスト 1・2年ベネッセ総合学力テスト（1年土曜のみ）
15	㊦	↓
16	月	3年共通テスト自己採点 3年午前中授業（31日まで） 1・2年平常授業
17	火	↓
18	水	
19	木	全校朝礼（教頭講話） ☺
20	金	仰（小論文ガイダンス）※1年は㊥仰㊦HR 第3回実用英語技能検定（希望者）
21	㊥	1・2年トップレベル模試（希望者）
22	㊦	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	全校朝礼（表彰伝達） ☺
27	金	仰（小論文リライト） 人権・同和教育HR活動 ※1年は㊥仰㊦HR
28	㊥	1・2年県学力テスト
29	㊦	
30	月	3年月㊥～㊦+学年集会 3年小論文基礎講座（講演会：午後）
31	火	

※行事予定は現時点での予定ですが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更もあります。

☺の印は、スクールアドバイザー相談日です（12:00～18:00）

『進路課より』

皆さんにとって、進路実現は高校生活の大きなウエートを占める関心事であると思います。2023 年度大学入学共通テストの確定志願者数が大学入試センターより公表され、志願者数は約 51 万人と前年度よりも約 1 万 8 千人減少しました。18 歳人口の減少と大学の入学定員の増加から、ここ 2・3 年で急速に競争緩和が進んでおり、既卒生の減少が顕著であるというのが皆さんを取り巻く入試環境の現状です。受験が現役生中心となり、選ばなければ大学生になれる時代となりましたが、二極化が進み、皆さんが学びたいと考える大学への進学は、依然として難しい状況が続くことが予想されます。3 年間という短い準備期間を高い目標を持って計画的に過ごし、納得できる進路実現のために早めの準備を心がけましょう。

【各学年に向けてのメッセージ】

3 年生はいよいよ受験本番を迎えます。受験は「団体戦」です。生活全般の過ごし方に受験生としての自覚と責任を持ちましょう。粘り強く受験に挑戦し、合格を勝ち取るだけでなく人間的な強さを身に付ける良い機会と考え、難局を乗り越えましょう。各クラス、そして学年が一致団結して高校生活の集大成に向けて邁進することを期待します。

2 年生にとって 3 学期は 3 年 0 学期と呼ばれ、本格的に受験に向けて準備をする時期になります。国数英の復習を行い、学び残しがないようにしてください。新 3 年生では、国数英をできるだけ早い時期に完成し、地歴・公民、理科の学習を本格的に始める時期になります。知識を増やすことはもちろん大切ですが、それを使いこなすためには多くの演習をこなすことが必要です。時間は限られていますが、新年度、工夫して最大限の効果が得られるようにしましょう。受験をうまく乗り切りためには、3 年生 9 月マーク模試で目標の成績に近づけておくことが必要です。そのためにも、12 月の懇談会で定めた志望校合格に向けて早くスタートを切り、来年の受験を有利に進めましょう。今から、来年の 9 月までが一番大切な時期だと思いますので、目標を達成するために計画的に学習に取り組みましょう。

1 年生は学習内容を復習し、定着状況を確認してください。1 年 11 月の模試は 3 年間で成績が最も大きく変動するため、上昇気流に乗ることができれば今後の進路実現に期待が持てるという話を以前にしたと思いますが、国数英に苦手科目ができていないかなど過去 2 回の対外模試を検証し、1・2 月の模試で成果を収められるように学習に励んでください。また文理選択を、どのように将来の職業と結びつけるかについても、保護者の方ともよく話をする時間を作りましょう。

さて、大学入学共通テストの話です。

大学入学共通テスト受験生が、大変苦労しています。昨年度は平均点が大幅に下がりました。その理由は何の教科も分量が増えたとともに、文章を正確に理解し、素早く判断する問題が増えたため、最後まで完答できなかったことが原因であると、予備校は分析しています。学力の 3 要素、思考力・判断力・表現力のバランスがとれた学力を身に付けることが重要であるとされていますが、共通テストに関して言えば、正確に文章を読む力と、情報を早く処理する「判断力」が以前に増して重視される結果となっていることは、皆さんも知っておく必要があります。新聞や読書を通して活字に慣れることはもちろんですが、数学や理科においても文章題が増加傾向にあります。文系理系を問わず日々の現代文の授業を特に大切にして、読解力を身に付けることを意識してください。

アメリカの実業家ジム・ローンさんは、「もっとも多くの時間を過ごす 5 人の平均があなたである」という「5 人の法則」を提唱しました。つまり、自分の周囲を、好ましい存在、例えば前向きに努力する人で固めれば、自分もその一員になれるということです。「仲間が勉強しているから自分もしよう」「将来のために勉強するのは当たり前」前向きな集団にはプラスの効果が生まれます。一人一人が良い意味での当たり前のレベルを、クラス、学年、学校全体で向上させ、新居浜西高校がよりよい学び舎となる環境作りに努めてください。